

「月惑星探査の来たる 10 年」
「第二段階パネルへの提案書」フォーマット **(2011.7.1)**

本提案書は日本惑星科学会が行う「月惑星探査の来たる 10 年」検討の第二段階においてパネルメンバーが検討を行うための資料として提出して頂きます。

(1) 第二段階パネルでは、A. 個別観測機器提案 と B. ミッション提案 を別個に募集します。個々の提案書では、科学目標や期待される成果、関連分野に与えるインパクト等のサイエンス面を強調して記載してください。同時に、提案内容の実施のための体制（人的、予算的）や、タイムスケジュールについても書ける範囲で記載してください。

(2) 第二段階パネルは、提案書について「順位」をつけるのではなく、提案内容の実現・改善に繋がるコメントを与え、関連分野における「興味」「能力」をリストアップして、グループ間の相補的関係の構築への助言を与えます。

締めきり： 2011 年 11 月末日

提出： **電子ファイル**（Word または PDF 形式）で「月惑星探査の来たる 10 年」事務局（decade_sec@wakusei.jp）に送って下さい。事務局で取りまとめて、第二段階パネルメンバーに展開します。

「月惑星探査の来たる 10 年」検討の詳細については、惑星科学会サーバから資料をダウンロードすることができます。 https://www.wakusei.jp/~decade_sec/wiki/open/

<注意>

提案 A, B のいずれにおいても、A4 用紙で 8 枚以内にまとめてください（図、表等を含む）。フォントサイズは 10 を基準としてください。

A. 個別観測機器提案

独自性のある観測機器の提案で、特定のミッションを想定していないものも含まれます。

(A1) 提案タイトル

(A2) 代表者（氏名・年齢・所属（連絡先））・・・惑星探査に係った経験があれば記載下さい。

(A3) 共同提案者（氏名・年齢・所属（連絡先））・・・惑星探査に係った経験があれば記載下さい。

(A4) 提案する機器の概要(A4 一枚以内)

(A5) 機器の科学目標、および惑星探査の長期的展望に於ける本提案の位置づけ

（第一段階パネル報告との関連が明らかになるように記述してください）

・・・第一段階パネル報告とつながらないものも排除しませんが、その場合は、独自の説明を加えてください。

・・・できれば「Minimum success、Nominal success、Maximum success」を分けて書けるなら書くことを推奨します。

A5-1. 提案観測機器が単独で達成できる科学目標、および期待される成果

A5-2. 他の観測データ（地上観測を含む）と組み合わせて期待される相乗効果

A5-3. 科学目標の達成に必要な観測精度とカバレッジ（試料回収については取得すべき試料の条件など）

(A6) 想定する開発体制・・・メンバーリスト（役割と経験・能力(含む技能)）
可能なメーカー

(A7) 実現に向けて必要となる技術課題

可能であれば、以下も付して下さい。

- ・ これらを解決するまでに予想されるおおまかなスケジュール
- ・ これらを解決するまでに必要なおおまかな予算

(A8) 参考文献 提案書内容の根拠となる文献資料（論文・報告書など）で、パネラーが参照できるようなものがありましたら記載してください。

(以上)

B. ミッション提案

使用する観測機器群を含めた具体的なミッション提案。

- (B1) 提案タイトル
- (B2) 代表者（氏名・年齢・所属（連絡先））・惑星探査に係った経験があれば記載下さい。
- (B3) 共同提案者（氏名・年齢・所属（連絡先））・惑星探査に係った経験があれば記載下さい。
- (B4) 提案するミッションの概要(A4一枚以内)
- (B5) ミッションの科学目標、および「惑星探査の長期的展望」に於ける本提案の位置づけ
(第一段階パネル報告との関連が明らかになるように記述してください)
 - ・・・第一段階パネル報告とつながらないものも排除しませんが、その場合は、独自の説明を加えてください。
 - ・・・できれば「Minimum success、Nominal success、Maximum success」を分けて書けるなら書くことを推奨します。
- (B6) 搭載観測機器の候補、およびミッション科学目標との関係
- (B7) 科学目標の達成に必要な観測精度とカバレッジ
(試料回収については取得すべき試料の条件)
- (B8) 想定する開発体制・・・メンバーリスト（役割と経験・能力(含む技能)）
可能なメーカー
- (B9) 実現に向けて必要となる技術課題
可能であれば、以下も付して下さい。
 - ・これらを解決するまでに予想されるおおまかなスケジュール
 - ・これらを解決するまでに必要なおおまかな予算
- (B10) 参考文献 提案書内容の根拠となる文献資料（論文・報告書など）で、パネラーが参照できるようなものがありましたら記載してください。

(以上)